

「盆提灯」

日々、夏の暑さを感じる7月も後半となりました。この時期になると、ご先祖様の霊をお迎えするお盆飾りの準備が始められていく方も多いのではないのでしょうか。今回はお盆飾りの中でも『盆提灯』についてお話させていただきます。盆提灯は、お盆の際にその灯を目印にしてご先祖様の霊が迷わずに帰ってくる様にと願いを込めてお飾りします。また、故人のご冥福をお祈りし、親戚や親しい知人からのお供えとしてお盆の際の贈り物の1つと位置づけられていました。しかし、近年では核家族化が進み、そういった風習や慣習を知らない世帯の増加や、親戚・知人へ訃報自体を知らせないケースの増加により、お供えとして受け取る機会は少なくなり喪家である家族が準備することが多くなりました。

提灯と一言で言っても、吊り下げるタイプや左右に一对置くタイプ、最近では居住スペースや家の雰囲気にあわせてコンパクトな物やモダンな物など様々な種類があります。形も壺型や丸型、円筒形等があり、地域によっては提灯の火袋部分に葬儀時に授かった戒名や家紋を入れる所もあるようです。お飾りする位置は元々、玄関先や縁側の軒下等と言われておりましたが、こちらも近年の住宅事情や防犯上の観点から仏壇の前や部屋の窓際にお飾りすることも多く、それぞれのお家の事情にあわせてお飾りしたので良いでしょう。

- 盆提灯は組み立て式が一般的なので、いざ組み立てると…
- ・火袋を前後ろ逆につけてしまっている(正面に絵柄がくるように組む)
 - ・房が正しい場所についていない(長い横房は左右に、短い下房は下に組む)
 - ・足の向きが違う(正面が一本足になるように組む)

…と、中々苦戦される方もいらっしゃるようで、この時期になると設置場所の相談や組み立て、提灯種類の相談まで依頼される事も多くなり、お盆の飾り棚や迎え火・送り火等の準備とあわせて私達も市内を次から次へと走り回る日々が始まります。

お盆は元々、和暦(旧暦)の7月15日を中心に行われてきた行事だった為に、現在でも都心部や沖縄・奄美地方などでは7月13日～16日(地方により15日)で現在も行われているそうなので、地域によっては既にお盆行事を終えられている所もあるのかもしれませんが、愛媛県を含め、ほぼ全国的にお盆とされている8月13日～16日(地方により15日)は月遅れの盆とも呼ばれ、その名の通りひと月遅れで行われています。これは、都心部と地方で時期を分けることによって、なるべく人が集まりやすくする為など諸説ありますが…一説では明治になって新暦が採用されると7月15日では当時国民の多くを占めていた農家の人達にとって最も忙しい時期と重なってしまい、ゆっくりとご先祖様の供養が出来ない為という理由があるようです。「きちんとご供養が出来る様」という理由から、とても大切な行事として行って来たことがうかがえますよね。

そういったわれや意味などを後世に伝える人や機会が少なくなりつつありますが、今一度供養の気持ちや意味を考えながら「今の自分達が居るのはご先祖様があつてのこと」と感謝の気持ちを持ち、集まった次世代の方へも伝える良い機会と捉えて今年のお盆供養をされてみてはいかがでしょうか。まだ、お盆の準備が出来ていない! どうやったら良いか分からない! 等、ご不明な点やお手伝いが必要な方はお気軽にお問合せ下さい。 TEL 0120-44-5880



戸田直記

はなだより～お盆の花～

お盆はご先祖様の霊が家族と一緒に過ごす行事です。8月の13日から15日が一般的ですが、地方によって少し違いはあります。お盆に飾る花は、その時期に咲く花や秋の花が多く使われます。桔梗、山百合、みそはぎ、なでしこ、おみなえしなどが使われますが、その他故人の好きなお花でも良いですね。

お盆にお供えする花は3本(3種)5本(5種)7本(7種)と日本では奇数が良いと言われていています。お墓や仏壇には両側に飾ることが多いので、左右対称になるように花束を一对用意すると良いでしょう。また、ほおずきもよく見かけますが、ほおずきは『鬼灯』とも書きます。精霊が火(迎え火や提灯の火)をたよりに集まると言われていることから、ほおずきを提灯に見立て、墓花や仏花に入れます。ご先祖様が迷わないようにという心遣いの表れです。

フラワースペースデザイン部では、お盆のお花も取り扱っております。花束やアレンジ等飾る場所に合わせてお作り出来ますので、是非ご相談ください。その他、お誕生日や記念日、開店祝いや送別会等、様々なシーンに合わせた花束やアレンジメントを承っております。大切なあなたの想いを伝えるお花をお作り致します。お気軽にお問い合わせください。

フラワースペースデザイン部 0897-53-8788



ちょっとひといき

先日、健康診断に行ってきました。一年前の健康診断から胃カメラか、バリウムかを選んで死地をくぐり抜けなければいけなくなりました。前回の健康診断の様子は「まぼろば」にも書かせて頂いたのですが、一年前は胃カメラを選び地獄を見ました。その経験と、「まぼろば」の記事に出来るかもしれないと思い(「まぼろば」に対する熱い想いが伝わりますでしょうか(笑))今回はバリウム検査を選んでみました。

前回同様、健康診断前日の21時以降は飲食厳禁です。前日は早く帰って食事をし、もう寝るしかありません。21時に寝床に入るのは、宿直の時か健康診断の時くらいです。夜が明けても、まだ喉に何も通してはいけません。また、前回の失敗を活かし、今回は当日の朝トイレには行かずに病院へ向かいました。前回はトイレに行ってから病院へ向かった所、尿検査が1番最初で、後にして欲しいと言ったが聞き入れてもらえず、絞り出した苦い思い出があったためです。

病院に到着し着替えを済ませ、待合室で待っているかと名前を呼ばれました。やはり一番初めは紙コップを渡され尿検査。おそらくですが、マスクの下ではドヤ顔をしていたと思います。肩で風を切りながら紙コップ片手にトイレへ向かい、今回はなんの抵抗もなくすんなりといきました(笑)。今回の私は紙コップを2個渡されたとしても動じなかったでしょう。

最初の試練の尿検査を難なくクリアし、諸々の検査も無事に終了しました。視力は相変わらず眼鏡がギリギリ必要でないぐらいの数字でほっとしたのも束の間、残すところついにバリウム検査だけに…。諸先輩方から、検査前に500ml程の飲み物を一気に飲み、それを飲んだ後はグップをしたらダメ、その後ぐるぐる回されるなど色々話は聞いていましたが、話から想像しかできないので、頭の中ではとんでもない事になっていました。胃カメラ同様、正直ビクビクしながら臨みました。

そして名前を呼ばれ、部屋へ案内され、ついにこの時が…。目の前に現れたのは、クイズタイムショックかのような装置が…。次回へ続く。



加地教史

あとがき

先日は、川東葬祭館感謝祭にご来場賜り誠にありがとうございました。

昨今の新型コロナウイルス感染症予防の観点からイベントを見合わせておりましたが、完全予約制の上、皆様にご協力をいただき万全な対策の元、とり行うことができました。久しぶりのイベントでスタッフ一同緊張しておりましたが、ご来場の皆様の笑顔を直接見る事ができ、一緒に楽しんで参加する事ができました。今後も色々な企画を考えておりますのでお楽しみに!



出口秀美

お問い合わせ
資料請求

フリーダイヤル
0120-44-5880

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。

365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!

◆ドリーマーではお葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

ドリーマーの
葬儀費用